

中期経営計画

〈計画期間〉
2018年4月～
2021年3月

ネクストバリュー
NEXT VALUE

～お客さま・地域との共通価値の創造～

目指す姿

未来への変革に挑み、お客さま・地域との共通価値を創造(CSV)[※]する銀行

※ CSV : Creating Shared Value

基本方針

- 地元への積極的な資金供給による地域経済の活性化
- 本業支援とコンサルティングを通じたお客さま本位の業務運営

● 基本戦略

営業力
強化戦略

法人営業 課題解決や本業支援を通じたお取引先の企業価値向上
個人営業 お客さま本位の業務運営と効率的なリテール営業の実践
地方創生 地域の活力を創造する地方創生の推進
FinTech 外部連携の強化やデジタルイノベーション技術の活用により顧客利便性を向上

生産性
向上戦略

業務効率化 従来の「やり方」や前例踏襲の「考え方」から脱却して生産性を向上
店舗再整備 マーケットや環境変化を踏まえたチャネル最適化と経営資源の再配分
働き方改革 限られた時間の中で成果をあげる創意工夫、働きやすく、働きがいのある職場へ

経営力
強化戦略

市場運用 総合損益を重視し、柔軟にポジションをコントロール
コンプライアンス 強固なコンプライアンス態勢の維持・向上
リスク管理 リスク管理体制の高度化
ガバナンス 企業価値の向上へ向けたガバナンス体制の充実・強化

● 計数目標

	2020年度
中小企業向け貸出金残高	2,350億円
投資信託残高	435億円
非金利収益比率 [※]	12.6%
当期純利益	10億円

※非金利収益比率=役務取引等利益÷(業務粗利益-国債等債券関係損益)

● ごあいさつ

平素より私ども鳥取銀行に対しまして格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。このたび、2019年9月期の決算概要や最近の取組みなどについて紹介する「とりぎん通信／2019年中間期ミニディスクロージャー誌」を発刊いたしました。ご高覧の上、ご参考にいただければ幸いです。

さて、今年度上半期は、米中の貿易摩擦の影響や海外経済の不透明感により輸出や生産活動が弱含んだものの、堅調な内需に支えられ緩やかな回復基調が続きました。今後については、消費税増税に伴う個人消費の動向や、相次いで発生した台風など自然災害の影響についても注視していく必要があります。

次に金融市場では、米国の利下げなど世界的な低金利環境が継続するなか、日本銀行は更なる緩和も辞さない姿勢を維持しており、今後も低金利環境は続くものとみられます。

このような環境の下、当行は「地域社会への貢献と健全経営」を経営理念に掲げ、2018年4月より中期経営計画「NEXT VALUE」に取り組んでおります。



取締役頭取
平井 耕司

「営業力強化」と「生産性向上」の両立により「収益力の強化」を図るとともに、「顧客本位」のビジネスモデルを実践することにより、「未来への変革に挑み、お客さま・地域との共通価値を創造する銀行」を目指してまいります。

今後とも皆さまの信頼とご期待にお応えできるよう全役職員が一丸となって努力してまいりますので、一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月



本冊子では取組み内容をSDGsの各項目に分類しています